

9/10 金

抗体カクテル療法効果

東京都分析

2週間後に95%改善

東京都は九日、新型コロナウイルス軽症患者向けの「抗体カクテル療法」の効

果について、詳細な分析

結果を発表した。都内医療機関から報告があつた十四

例のうち、投与から二

週間が経過した患者四十

人を抽出。95・2%

で症状の改善がみられ

た。この半数超が

治療薬の投与から三日以

内に改善し、早期の投与ほど効果が高い傾向があつた。

都は今月三日、千三十二人の分析速報で75%が改善したと発表しており、今はコロナの療養期間（十四日間）が過ぎた事例について、東京iCDC（感染症対策センター）の専門家を交えて分析した。四百人は

死亡した。

改善しなかつた患者は一

人を除き五十代以上で、若年層ほど改善傾向が強く出

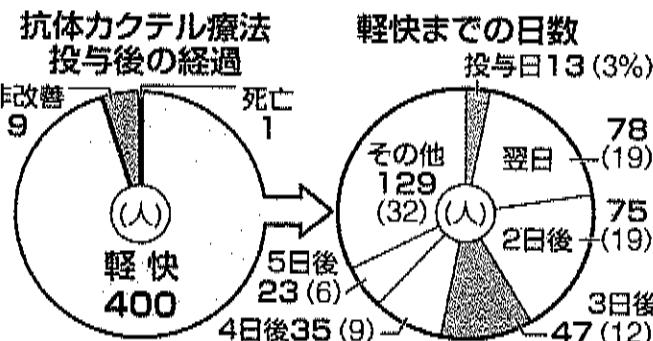
た。死者は基礎疾患のある六十代だった。

発症から投与までの期間

が長いほど改善しないケー

スが多く、非改善の十九人

のうち六割の十二人が発症



全体のうちワクチンが未接種だったのは二百三十人で、この93・5%（二百五人）は改善。未接種でも投与の効果は変わらないことが確認された。

データを公表した東京iCDC専門家ボードの賀来満夫座長は「多くの専門家から『効果を実感している』との声を聞いた。都として療法を活用した治療を推進してほしい」と強調した。